

A News Letter from Woody Akiba

自然な住まいを愛する
ニュースレター(第5号)



地中熱・太陽光発電・集熱パネル「地熱の家」

最強の自然エネルギー住宅が誕生！

2003/NO5

山口県のGEOパワーシステム会は山口大学と共同開発した地中熱の利用システムの販売キャンペーンを行っています。

地中熱は、外気に影響されず地下9から10mでは一年中ほぼ一定で、その温度はその地域の年平均気温とほぼ同じです。そして重要なのは、地中の温度はその深さにより、地表の気温の周期変化に対してかなりのタイムラグを生じているということです。地下4.5mの場合、寒い時期に地中のやや高め熱を利用でき、暑い時期には地中のやや低め熱を利用できるのです。

加えて、冬には集熱パネルが太陽からの照射熱を取り込み、室内に暖められた空気を送り込みます。夏には、雨樋からタンクに集水した水を利用して屋根で散水します。(雨水利用屋根散水)

さらには、太陽光発電パネルを屋根に装備して、発電した電力を東京電力に売ることができます。

これにより、冷暖房費の80%をカットできるこれまで最強の環境配慮、省エネルギー住宅の誕生となりました。(建物の性能と地域環境により異なります)

大地、太陽、水。これらの持つ自然エネルギーを有効に建物に取り入れ、自然界に近い形で暮らせる住まい。居ながらにして、土の温もりを感じ、陽を感じ、風がそよぎ、潤いを与える。まさに、"自然"そのもの。このGEOパワーシステムは、機能性を追求するあまり今の暮らしが失いかけている、地球の鼓動を感じることができます。(パンフレットより)

地熱の家キャンペーン概要

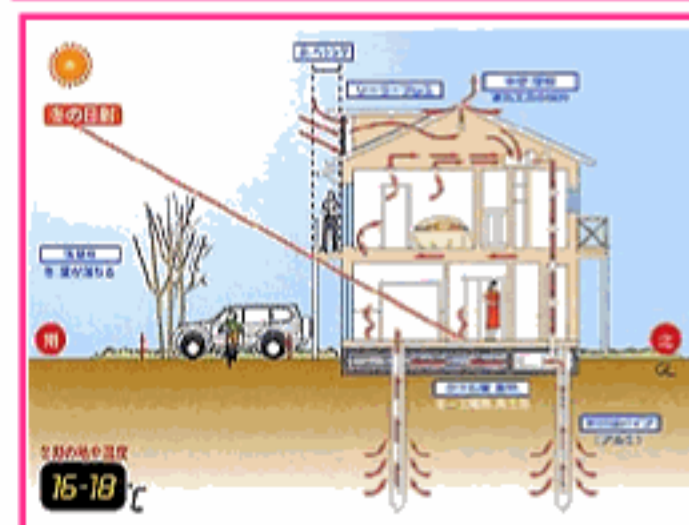
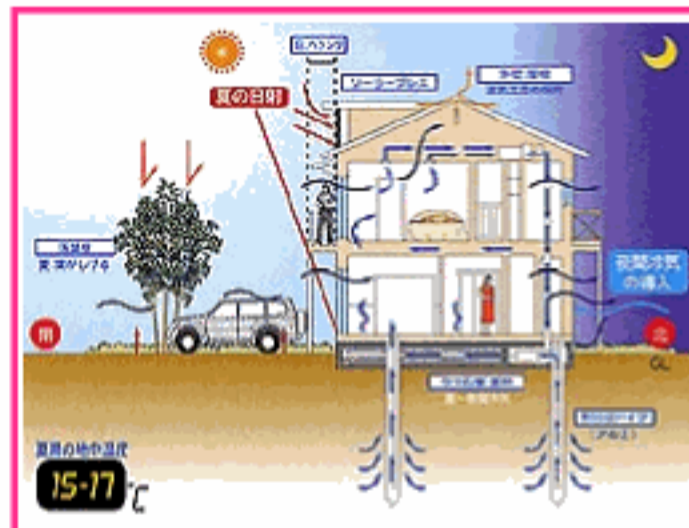
地中熱換気システム・太陽光発電オール電化・外張り断熱通気工法・高耐久鉄骨造・無垢材による仕上げ
工事施工面積127㎡(38.42坪)
建物本体価格2120万円のところ300万円の特別値引きにより、1720万円にて販売(坪44.7万円)各県限定10棟のみ。

夏

夏は建物内で暖められた空気を、天井裏より排出。同時に吸気口より外気を取り入れ、地熱によって冷やされた空気を建物内に送り込みます。また、夜間は余分な冷気をグリ石層に蓄冷させ、日中にこれを利用して暑さを和らげます

冬

冬は基本的に断熱をしっかり行うことで、外からの冷気を防ぎます。同時に屋根裏に溜まる太陽熱(独自開発のソーラープレスの利用)や、発生熱、さらに地熱の利用で、建物内にほんのり暖かい空気を循環させます



A News Letter from Woody Akiba



2003/NO5

投げ込み(ポスティング)

季節は2月北風の吹く午後のこと。住宅街の道路から家並みを見ながら玄関を見つけ足早に近寄りある家の前に立ち止まる。表札を見て、郵便受けの場所を見つける。ポストには家族4人の名前が書かれている。上にはご主人の名前、下にあるのは奥様、次は子供の名前に違いない、と思いながらニュースを入れる。その横に「WELCOME」と書かれた木のプレートがある。わきにはキャラクターのシールは貼ってある。胸が「キュン」となる。急に、「ハッと」家庭の温かさを感じてホンワカとあったかい気分になってくる。このお宅の家族も幸せな毎日を送っているに違いない、自分の家族と子ども、こちらのご家族の幸せを祈らずにはいられない気分になってくる。一瞬のうちに、家族という家族みんなの幸せを祈ってしまう。家は家族とともに年月を重ねていく。まさに「家族の幸せの容れもの」なのだ実感する。おしらせ(私はニュースレターと呼んでいる)を家庭のポストに入れて歩くことを「ポスティング」と呼ぶ。このポスティングが私は嫌いではない。それぞれの家庭の幸せが見えてくるような、そんな気がしてくるからです。私のこのニュースレター、不要でしたら処分してください。それでも懲りずに、また郵便受けに入れてあるかもしれません。不要なものがはいっていたらどうか、お許しください。皆様のご家庭のお幸せをご祈念申し上げます。

住まいのチェック

外壁サイディング

縦ライン・横ラインデザイン、タイルレンガ柄、石目柄など様々なタイプがあります。また、塗装にも何種類か使われています。窯業サイディングのことで、セメント成型で作られます。アルミや鉄製のサイディングもありますが、いちばん普及しているのはこの窯業系のものです。このサイディングにも工場で塗装してから出荷されたものと、現場にて塗装されたものがあります。最近では工場塗装がほとんどを占めるようになっています。そのほうが気候にも左右されず安定した性能が発揮できるからです。さて、そのサイディングの表面を手のひらで撫でてみてください。白い粉がつかまらなかったか？つかなければ、塗膜は安全です。付いた場合は黄信号と考えてください。これは白華といってセメントの成分が出てきたものです。塗膜が薄くなり、そろそろ防水の性能が発揮できなくなる時期といえます。そのまま放っておくとさらに進んで、サイディング板に水が染み込むようになり、表面が溶け出してしまいます。そろそろ、再塗装を考える時期になっています。日本の住宅の平均寿命はなんとたったの26年です。アメリカの44年イギリスの75年に比べてなんと短命なことでしょう。私も住まいを長持ちさせる取り組みを行っています。ご希望の方に私が整理した「住まいのチェック」を進呈します。どうぞ左記までお知らせください。

プレゼント！



今月は、やはり「地熱の家」キャンペーンです。資料とCDROMをご希望の方にプレゼント。左記の連絡先までご住所・お名前・電話番号そして「地熱の資料」とお伝えください。プレゼントの品も多種になっております。ご希望の名称を必ず明記願います。

この地熱の家特別値引きキャンペーンは平成15年6月30日をもって終了します。一ヶ月あまりの期間限定となります。企画タイプのために、面積や間取りを変更することができません。もうひとつ、このキャンペーンは鉄骨構造のみとなります。このGEOパワーシステムは環境のも、省エネにも大変優れた、特におすすめできるシステムです。私はこの地熱の家を木造軸組みに取り入れていきたいと思っています。これだけの省エネ住宅が2千万円台前半でたてられるというのは非常に価値のあることだと感じています。ご興味のあるかたは是非、資料をご請求ください。

発行者
「自然の住まい研究室」
秋葉 建設(株) 秋葉忠夫
289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814FAX0479-72-0824
電子メールakibakk@rapid.ocn.ne.jp
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~akiba/>

次号も読んでいただける方は左記までご住所・お名前・ご連絡先をお知らせ願います。お便りお待ちしております。ご感想をお寄せいただいた方には感謝のしるしとして愛情のこもったプレゼントをあげちゃいます。